

筒台会報

発行所

神戸市立葺合高等学校筒台会

〒651-0054 神戸市中央区野崎通1-1-1

TEL078-291-0771 (葺合高校事務室) TEL078-271-4000 (筒台会事務局)

ホームページ <http://www.todaikai.net>

編集・印刷

三和印刷株式会社

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町27-21

TEL078-431-3981



- 目次..... 1
- さらなる発展の礎「新校舎建設」..... 2
筒台会会長 志水利達
- 「筒台会東京支部活動報告」..... 2
筒台会東京支部長 渡部 隆
- 「ごあいさつ」..... 3
校長 西尾 勝
- 「有形と無形と」..... 3
教頭 井原信司
- 平成24年度教職員移動..... 3
- <特集>校舎建て替えに伴う学校の変遷..... 4
- 寄稿 筒台会だより 5

- 母校トピックス.....10～
- フェニックス賞.....14
- 部活動の主な成績／卒業生進路状況.....15
- 会員の皆様へお願い.....16
- 広告.....19
- この人に聞く.....25
- 平成24年度 筒台会役員(案)26
平成24年度 筒台会総会・懇親会次第
- 会計報告・予算案・会計監査報告・会務報告.....27
- 平成24年度 筒台会・筒台会東京支部
総会・懇親会のご案内.....28



さらなる発展の礎 「新校舎建設」

筒台会会長
志水利達 (高校16回)



筒台会東京支部活動報告

筒台会副会長
筒台会東京支部長
渡部 隆 (高校17回)

筒台会会員のみなさん、お元気でしょうか。いつも同窓会活動にご支援とご協力をいただきありがとうございます。

母校の建て替え工事が始まりました。昨年12月から建て替えの準備工事がスタート。葺合高校の建つ「筒井が丘」が文教の地としての歩みを始めたのは、1902年(明治35年)です。その歴史については今回特集を組み浅黄斑氏(高16回)が記述しております。

そして今、この地でのさらなる発展の礎となる校舎の全面的な建て替えが、学校側の努力をはじめ、筒台会や多くの方々のサポートを受けて、実現することになりました。建て替えには3年の歳月が見込まれています。その間、運動場、講堂などの使用が不可能となり、諸行事のたびにそれらの施設を外部に借りなければならない、ということになります。

- ①筒台会は、仮設校舎での授業、外部施設の借用などの不便を強いられる母校を物・心両面でサポートしたいと思っています。
- ②「筒台会室」のスペースも組み込まれることになっています。
- ③会報協力金(2,000円)に加えて、運営協力金(1口1,000円)併せて、筒台会報への広告掲載、ホームページ「筒台会」のバナー広告掲載へのご協力もよろしくお願いいたします。

昨年6月11日の「葺高祭」に合わせて「ホームカミングデー(母校を訪問しよう)」を開催しました。神田先生(第9代校長)と竹内先生(第10代校長)の「なつかしの教室で、なつかしの授業」には、多くの同窓会会員の方が参加してくださいました。

神戸新聞も写真付きで掲載されるなど、大きな反響がありました。今年も6月16日(土)にホームカミングデーを開催いたします。

会員皆様の名簿の整理も大きな課題となっています。「名簿委員会」を発足させ名簿の整備に着手しました。ホームページ(<http://www.todaikai.net>)にも、住所などの変更を受け付ける欄を設けました。ホームページには、筒台会の事業予定などがわかる「同窓生の広場」、会員同士の意見交換、同期会の呼び掛けなどに利用できる「掲示板」の欄も開設しています。大いにご利用下さい。

母校の発展飛躍を支える元気な筒台会へと成長し、同窓の絆の輪(和)を広げる「信頼の筒台会」となるよう、皆様と力を合わせていきたいと思っています。

よろしく願い申し上げます。

筒台会のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

常日頃、神戸本部および母校から、絶大なるご支援を賜り、大変にありがたく厚く御礼を申し上げます。

平成23年度の東京支部は、何ととっても5月28日(日)の、銀座・三笠会館で開催しました「東京支部総会・懇親会」です。中学1年生から、大学1年生まで網羅して、正に同窓会の醍醐味です。

以下は、月別・項目別の活動報告です。

- ①4月23日(土)「役員会」、明治大学にて。
- ②5月28日(土)「東京支部総会・懇親会」、銀座・三笠会館にて。
- ③6月25日(土)「神戸総会に支部長出席」、第一楼にて。
- ④7月9日(土)「第6回寄席の会」、国立演芸場にて。
- ⑤8月27日(土)「横浜港クルージング」
- ⑥10月1日(土)「第11回語る会」高校17回・渡部隆、京王クラブにて。
- ⑦10月20日(木)「第12回歌舞伎観劇会」、国立劇場にて。
- ⑧10月22日(土)「役員会」、明治大学にて。
- ⑨12月10日(土)「忘年会」、新宿東口にて。
- ⑩1月14日(土)「第7回寄席の会」、国立演芸場にて。
- ⑪2月25日(土)「第13回語る会」高校24回・武山芳夫、明治大学にて。
- ⑫3月3日(土)「第2回年度別幹事会」、明治大学にて。
- ⑬3月14日(水)「第13回歌舞伎観劇会」、国立劇場にて。

今年も東京支部の良き伝統「アットホームな良さ」を保持しながら、総ての面で拡大・発展を図ります。なにとぞ、ご支援・協力をよろしくお願いいたします。



平成23年5月28日(土) 東京支部総会・懇親会



ごあいさつ

校長
西尾 勝



有形と無形と

教頭
井原 信司

今春、教育委員会学校計画課から赴任して参りました。学校現場を5年間離れておりましたが、葺合高校には校舎施設の全面建替の計画を進めることで、幾度となく通っております。また、筒台会の例会にも、建替の報告、説明で何度も出席させていただきました。

その際には、筒台会の方々、母校を心より愛し、強い絆で結ばれた大きな力で葺合高校を応援・支援されているということを実感しております。あらためまして筒台会の皆様には本校への愛情あるご支援、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

今年度より始まる建設にあたりましては、葺合高校の歴史と伝統を継承しつつ、さらなる魅力化、特色化が図れるよう洗練された豊かな教育環境の整備を進めていくとともに、工事の期間、生徒たちの教育活動が十分に行えるよう、安全面も含めて万全を期してまいります。

今春は、国際科、普通科合わせて276名が巣立ち、筒台会に入会しました。そして本校には新たに280名が入学し、全校836名の生徒が葺合生としての誇りを胸に、新年度を出発しております。

生徒たちをみていて最初に感じたことは、葺高生は、「頑張ることはカッコイイ」と思っているんだということです。授業、清掃、部活動で、そして4月13日、14日にあった春季学年合宿での生徒の懸命に頑張る姿を見ていてそう感じました。中学、高校生の年頃になると、何か頑張ることを格好悪いことだと思いをし、懸命な頑張りを拒んでしまうといったことがあります。しかし、葺高生はそれぞれが「志」というツボミを持ち、夢や希望に向かって、命いっぱい自らの花を咲かそうとする決意を、何事にも懸命に頑張る姿から示してくれています。それはまさに本校の教育方針「自主の人たれ」「創造の人たれ」「世界の人たれ」を生徒たちが実践してくれるという思いを強くさせてくれます。

私たち教職員も生徒が充実した高校生活を過ごし、大きな成長を遂げるよう懸命に全力を尽くしてまいりますので、今後とも筒台会会員各位の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

4月のとある朝。7時過ぎの王子公園駅着の電車の中で、笑顔で挨拶してくれる葺合の生徒に出会う「こんな早くに、部活？」と聞くと「いえ、教室の花を植え替えに」。校門を入ると〇〇部の生徒たちがわざわざ立ちどまって気持ちのいい挨拶。肌寒い朝に気分もひきまします。こんな生徒が多いので、教職員も骨身を惜しまず頑張っているのだらうと思います。

校舎の建て替えで、3月末に仮設に引っ越し、まだまだ落ち着かない毎日ですが、この建替に際しましても、色々な感動があります。たとえば歴代校長が残された記念碑や記念樹、残すか否かの検討で、元校長先生方に来校いただいた時のお言葉、「新しい校舎が出来るのに、古いものにこだわってたらいかん、記念樹が必要なら新しく植えたらええ」という潔い言葉。ダーウィンの有名な言葉『生き残るものは強いものでも弱いものでもない、常に変化していくものだ』を思い出します。

葺合が新しい校舎になっても、このすばらしい伝統と文化、見えないものも見えるものもしっかりと受け継ぎながら、新しい葺合も創造していきたいと思えます。

今後とも筒台会会員各位の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

※誌面をお借りしてお願いをもう一つ。建替に際しまして、古い校舎を見学に来られましたなら、必ず前もってご連絡を、来られましたら先ず職員室・事務室にお立ち寄りください。土日祝日は職員も手薄になりますので控え下さい。現役生の安全対策へのご協力、よろしくお願いいたします。

平成24年度 教職員異動

退職	田阪 義英 校長 校長 神戸市保険福祉局へ 平成21年4月から3年間勤務	西尾 勝 首席指導主事 校長 学校計画課より
	小林 篤 教諭 理科 葺合高校・再雇用に 平成14年4月から10年間勤務	荒木 貞次 教諭 保体 神港高校より
	野島 雅子 教諭 家庭 平成10年4月から14年間勤務	谷 知典 教諭 保体 御影中学より
	増見 敦 教諭 英語 神戸大学附属中等教育学校へ 平成12年4月から12年間勤務	転入 小林 千佳 養護教諭 養護 大池中学より
転出	秋元 信如 教諭 保体 神戸工科高校へ 平成14年4月から10年間勤務	廣田たつ子 実習教員 家庭 須磨翔風高校より
	榎井 伸司 教諭 英語 楠高校へ 平成10年4月から14年間勤務	和田 利男 技術職員 成徳小学校より
	中屋 幸江 養護教諭 養護 歌敷山中学へ 平成21年4月から3年間勤務	岡本 佳子 臨時事務職員 灘区まちづくり課より
	清家 豊 教諭 英語 指導課へ 平成23年4月から1年間勤務	再雇用 小林 篤 教諭 理科
	北野 裕之 常勤講師 保体 桜が丘中学へ 平成23年4月から1年間勤務	新採用 浦崎 和香 教諭 英語
	浦崎 和香 常勤講師 英語 葺合高校で新規採用へ 平成23年4月から1年間勤務	柘田 道子 常勤講師 家庭 摩耶兵庫高校より
	西堀 秀哲 常勤講師 英語 兵庫県立加古川北高校へ 平成23年4月から1年間勤務	常勤講師 中野 利香 常勤講師 英語
	竹下あかね 実習教員 家庭 須磨翔風高校へ 平成23年4月から1年間勤務	鳴神 沙紀 常勤講師 英語
	木村 直子 常勤講師 家庭 大坂府立桜塚高校非常勤へ 平成23年10月から6カ月間勤務	小菅 美沙 英語 愛徳学園より
	山崎正二郎 技術職員 山の手小学校へ 平成17年4月から7年間勤務	ALT ロメル・パロウ JET 樋谷中学校より
西江 千春 臨時事務職員 科学技術高校へ 平成23年4月から1年間勤務	ALT ジュリー・トラン JET 太山寺中学校より	
川坂 恵子 臨時事務職員 平成23年12月から4カ月間勤務		
ALT カイル・ケアリー JET 伊川谷中学校へ 平成22年4月から2年間勤務		
シーリア・ヤム JET 岩岡中学校へ 平成22年4月から2年間勤務		

<特集>校舎建て替えに伴う学校の変遷

筒井が丘、市立神戸一中以前のこと。

高16回生 浅黄 斑

我が母校の前身である市立神戸第一中学校（のち夜間の二中也併設）は、官立神戸高等商業学校（以下神戸高商とする。また、官立は国立のことで、以降は省略する）が神戸商業大学に昇格したのち、六甲台に学舎を移した跡地に設立された。その黎明期のことについて、紙数も不足しているのので、駆け足で記しておきたい。

明治8年のこと、東京尾張町（現銀座五丁目）の鯛味噌屋の二階に開かれた私塾「商法講習所」が、やがて文部省直轄の東京商業学校となり、やがて東京高商と改称されるころ、とよの山県内閣の元、第二高商の設立の機運が生まれた。実はこのとき、第二高商の設立地は貿易海運の盛んな神戸市と内定していた。

ところがこれを、商の都を自負する大阪市が知った。たちまち猛烈な運動を始めて紛糾し、明治35年（1902）の帝国議会で諮られることになる。当日の議会出席総数は141、無記名投票の結果は71対70、わずか一票の差で神戸市に軍配が上がった。悔しがった大阪市は、市立商業学校を改組して、市立大阪高等商業学校を作っている。

設立の地は、当時の神戸市の東郊、筒井が丘籠池の高台と決まった。二十度を超える急勾配の山腹に、大根の段々畑が続くところであった。ここを何段にも地ならしをして敷地を作る。連日、地ならしの歌が聞こえるなか、文部省では設計委員会を設置して建築技師を送り、これに兵庫県建築技師が加わった。

そうして校舎が完成し、講義が始まったのが明治36年（1903）の5月15日のことであった。この翌年の2月には日露戦争が始まっている。日本の国が貧窮にあえいだころだ。もし、あと一年校舎の建設が遅れていれば、神戸高商の開校はなかったかもしれない。校風は非常に家族的だったという。学生たちは自らの学校を「葺合村塾」と、のちのちまで呼んだそうだ。

ところで神戸高商から南東の原田の森の一角に、木造二階建ての校舎があった。これが関西学院の発祥地である。ただし、そこはまだ神戸市ではなく武庫郡西灘村だった。まさに神戸高商は、神戸市の東端、ぎりぎりの場所に創立されたのだ。

昭和10年（1935）の地図を見てみると、神戸高商は神戸商業大学と名を変えている。西灘村は神戸市に編入されて灘区になっているが、関西学院の名はすでにない。そのかわり松蔭女学校、報徳商業（海星の場所）、女子薬専、女子神商、成徳女学校、盲聾唖学校など、付近が学園都市になっているのが読み取れる。交通のほうは神戸市電が上筒井二丁目の終点で、そのすぐ南に阪急乗場がある。梅田から伸びる阪急神戸線は、このころ、この上筒井駅が終点であったのだ。王子公園（現王子動物園）もまだないころである。市立神戸一中が開校するのが、この四年後のことだと付して、この稿を終える。

1中時代



正門での敬礼



すべて木造の当時の校舎（講堂は赤煉瓦だった）



戦後

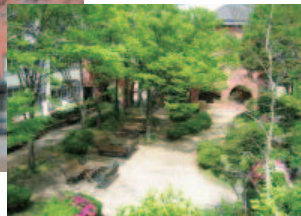


兼松会館でのコーラス

現在



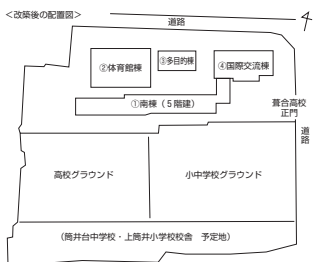
正門



中庭

将来

- ◎平面図では南館が6階建ですが5Fに変更になり、昨年12月から仮設校舎の建設が始まり、本年4月から使用が始まります。
- ◎講堂完成時には緞帳を筒台会寄進で致します。
- ◎筒台会部室を南棟の1Fに作って頂きます。



寄稿

筒台会だより

甚六会

中1回生 則武 義治郎

平成23年における甚六会（中一回生、昭和19年卒業）の行事は下記の通りです。

①甚六会総会

23年6月20日神戸ポートピアホテルで開催、17名の中一一生が集り、初夏の空を眺めつつ親交を暖めました。

②甚六会々員も老令化のため、此の第20回をもって終了致すことと相成り会員に対し、その旨通知致しました。

③甚六会終了記念の集会

上記甚六会の終了を惜しんで有志の集会を23.11.27有馬瑞宝園で開き11名の方が集まりました。



「甚六会」集合写真（最終回） 神戸ポートピアホテル レヴァンテ

瀬戸本	佐藤	後藤	田辺	堀内	王	那谷	木戸
川上	勝矢	米本	則武	笠原	喜覚	京田	伊藤光



有馬瑞宝園

拝啓 梅雨の候、お元氣のこと存じ上げます。さて、甚六会も6月20日で連続20回を数え17名の参加を得て無事終了致しました。この20回を期して会員の老齢化もあり、本年で甚六会を終了致します。金の預り金が18万5千円残りました。うち10万円を筒台会の備品購入費用として寄付致し、残り8万5千円を会の終了記念として出席者に5千円ずつ返金支給しました。上記の通りお知らせ致します。承い願、甚六会にご協力頂き有難うございました。今後ともどうぞお元氣で！高、ハの会は8月8日が最終です。 敬具
平成23年7月
(世話人代表)
〒657-0011 神戸市灘区鶴甲3-5-2205
則武 義治郎
TEL (078) 811-7096



こしました。大自然の猛威の前には人間の力等無力です。人類の終末を見た思いです。テレビの映像を通じてですが脳裏に焼き付いて離れません。その後、東北の人々の助け合いながら立ち上がる姿、全国から寄せられる支援や励まし、それを見た時、大自然の脅威に立ち向かえるのは人々の互いを思いやる心、連帯でしかないと思うのです。

少々前置きが長くなった様ですが、縁を大事に仲間を大事にしたいと願うからです。

さて同期会の会場は昨年と同じ六甲荘で10月29日土曜日午後1時より行いました。次々と会場に来られる同期生、名前の解る人、そうでない人、でも皆なつかしい顔です。

卒業以来の人、どうしても会いたかった人、思いは色々です。席に着き最初は緊張の面持ちでしたが日井君の巧みな司会で和やかに

進行しました。特にインタビュー形式でみんなから近況を聞き出しながら進行する方法はプロの司会者を凌ぐ名司会振りです。会場は大いに盛り上がり、宴たけなわの頃には、すっかり高校生時代に戻っていました。

長い人生の中で最も多感な時代が高校時代だと思います。私も部活に夢中になっていました。いやなこと、悩んだこともあったと思いますが今は楽しい思い出です。同期会は最高です。年に1回は必ず行って欲しいと願っています。閉会の挨拶は山端君の亡き友を思う心がひしひしと伝わる感動的な挨拶で終わることができました。二次会は同じ六甲荘内の別会場でとりましたので、多数の参加者があり盛大でした。

長い人生の中のわずか3年間の縁ですが、お互いの無事を思い、絆を大事にする次回を約束し閉会しました。



懇親会風景



小島 賢治 平成23年代表幹事
山端 誠一 友を思う熱い心の朗会挨拶
日井 修 名司会
小出 健士 遠来の友の乾杯発声
袴田 成彬 49年にして初参加

平成23年度14期同期会を終えて

高14回生 小島 賢治

ボランティア元年と云われ、共生社会をと声高に叫ばれた阪神淡路大震災から、早16年神戸の街はすっかりきれいになりましたが、それとは反比例するかの様に人々の心は殺伐とし、無縁社会と云われ、すでに亡くなっている人が死亡届が提出されていないため生き延びてきたことになっていたとか日本の誇る長寿社会が地に落ちた感でこの先日本はどうなるんだらうと不安になってしまったのは私だけではないと思います。

そんな時起こったのが東日本大震災、大津波です。又、福島では日本の英知を尽くした絶対安全なはずの原発が瓦解し放射能漏れの事故を起

バレエ部OB・OG懇親会の開催

バレエ部OB・OG会事務局

平成23年11月3日毎年恒例のバレエ部OB・OG懇親会が神戸三宮マングリンパレスで開催された。

今回は平成生まれの若手OB4名が初めて出席されたほか、長野県や東京都から駆けつけてくれたOB・OGや初参加のOGを含めて36名が一堂

に会し、中華料理に舌鼓を打ちながら現役時代の思い出話や苦労話に花が咲き、和気藹々の雰囲気の中で楽しいひと時を過ごしました。

また、懇親会に先立ち毎年「葺合クラブ」としてOBを中心にチーム編成して参加している「神戸新聞バレーボール大会(9人制)」は今年も三菱重工体育館で行われましたが、初めて参加した若手OBの活躍にもかかわらず熟年OBが息切れして残念ながら1回戦で敗退してしまいました。来年は若手OB主体でチームを編成して雪辱を期したいと思っておりますので我と思われるOBは是非ご参加下さい。

バレー部OB・OG会は例年11月3日の文化の日に開催していますが、葺合高校は今年から校舎の建替え工事が行われると聞いており、懐かしい校舎や練習で汗を流した体育館も見納めになるかもしれませんので、今年は学校でOB・OG会が開催できればと願っております。



葺合高校20回生の皆さん

葺合高校20回生同期会世話人一同

久しぶりの再会を楽しんで、はや一ヶ月が過ぎ、カレンダーの枚数もあと僅かとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて第2回の同期会ですが、1回目の人数には及びませんでした。それでも先生方を含め56名の参加者がありました。しかし今回は前回参加されなかった人も多数見えて、同期会を楽しみにしている人が多いのだなあと、思うことしきりでした。

その時の思い出として集合写真をお送りいたします。また2年後この笑顔にお会い出来るよう世話人一同企画してまいりますので、次回も是非ご参集ください。

2011年11月吉日



2011年10月8日 於ホテル北野プラザ六甲荘

筒台会24回生「ひろがり」はさらに広く、深く

高24回生 武山 芳夫

卒業後40年を経てさらに、高校24回生の交流は広まり、深まっています。平成23年は、神戸でのプチ同期会、また4月には花見会に合わせて、東日本大震災への支援として一致団結の救援物資支援活動を行いました。その他、東京での同期会の定例開催、インターネットブログ「葺合ひろがり24」を通じた国内外同期生の情報、意見交換などなど。

そうした中、平成23年11月19日(土)には1年を締めくくる24回

生「大忘年会」が開催されました。

当日の参加者は68名。神戸、関西を中心に国内は東京、神奈川、長野などから。さらに今回は海外(フランス・パリ)からも1名参加してくれました。加えて、8名の先生方にもご出席いただきました。神田民枝先生、松下八重子先生、梶田浩司先生、加藤恒雄先生、藤田利明先生、小玉巧先生、栗山(旧姓白井)弘子先生、大垣圭介先生、本当にありがとうございました。

当日、会場の神戸・北野ガーデンでは開会前から受付で、「イヤー、久しぶり!」「オー、元気?」と華やいだ声があちこちに。

午後6時の開会後は、幹事団の趣向を凝らしたプログラムが続きます。



○開会の辞のあと、立替工事が始まる母校の校舎を偲んで、在学時と今の葺合高校の姿が会場の100インチスクリーンに投影。

○卒業後亡くなった先生方、同期生、さらに東日本大震災で亡くなった方々に哀悼の意を。同期の作曲家大政直人君がこの日のために作曲してくれた「レクイエム」をピアノ演奏した後、全員で黙祷。スクリーンには亡くなった先生方、同期生の往時の写真が。



○先生方からのご挨拶。それぞれの近況、昔の思い出が次々と。昔と変わらないしっかりとしたお話しぶりに一同頭の中は40年前に。

○同期生の歌「葺合ひろがり24」を全員で合唱。この曲も作曲は大政直人君、作詞は同期有志達によるもので、今回初披露されたものです。しかし、事前に楽譜、CD(!)が配布されていたお陰で斉唱はしっかり決まりました。

○その他、11月開催に因んでの「お誕生日会」や「景品抽選会」等々。こうした合間に、懇談と食事、お酒が入るわけですから、午後9時半の閉会までまさにあっという間に時間が過ぎていきました。

話し足りない面々はさらに新神戸サンホテルでの2次会へ。(一部はそれでも足りず深夜の3次会へと消えたとか?)そして、翌日は現在の校舎見納めとして葺合高校訪問ツアーが。

今回の「大忘年会」を通じ、改めて同期生達のみとまり、結束の強さを感じました。

同期のためのオリジナル曲の作曲、会場の音響・映像手配、先生方への参加呼びかけ、1次会・2次会の会場提供、事前準備、当日の運営役割分担などいずれも連携プレーの賜物です。

中でも特筆すべきは、強力なリーダーシップを発揮してくれた幹事長





進木健三君とわがブログ「葺合ひろがり24」を献身的に運営してくれている黒川(旧姓中畑)裕見子さんの2人の力でしょう。

来年(平成25年)は我々同期が還暦を迎える年。60

歳を節目とする「大・葺合ひろがり24」会を成功させようとするまでにカウントダウンが始まっています。まずは今年(平成24年)中には還暦1年前の大忘年会が開かれます。友よ、ぜひ参加の一報を！待っています！



ポジティブに、まっすぐに私たちにらしく前へ前へそんな事を思った春でした。

明日からも、想い優しさを繋げて歩きたいです。



平成23年度筒台会総会・懇親会に参加して

高63回生 加藤結子、田中千愛



6月25日に行われた懇親会では久しぶりに高校の仲間達とご飯を食べ、たくさん話し楽しい時間を過ごすことができました。高校時代から私達はとても仲がよく今回の懇親会でも100名以上の方が参加してくれました。先生方ともお

会いでき懐かしい思い出を熱く語り合い、高校生に戻りたいと思うほどでした。また、料理は中華のバイキング形式となっていて好きなものを好きなだけ食べることができ周りのみなさんもとても満足していた様子でした。パフォーマンスでは有志グループ5名による、マイケルジャクソンのダンスが披露されあまりの上手さに驚くと共に会場は大盛り上がりとなりました。またOGの皆さんの校歌斉唱では私達新卒生も共に熱唱し、素敵なお声が会場に響きわたるほどでした。最後にはこれからの葺合高校のますますの発展と健闘を願って万歳三唱を全員で行い今回の懇親会は締めくくられました。楽しい時間をありがとうございました。



想い優しさをつなげて

高24回生 斉藤美知子

今、人生の不思議、うれしさを感じています。葺合高校で学べて、改めて喜びを感じています。

24回生の皆さんも、そう感じていると確信しています。

喜びのひとつは、恒例の4月の花見。美しい花、さくらさくらの下で、みんなの笑顔が集まります。

今年も元気な笑顔の花が咲きました。

あのことのお話、今のお話、これからのお話……語りつくせない思い。時を忘れる贈り物をもらった気がしました。

昨年の花見より、心が集まった気がしました。こうして春にみんなの元気な顔に会えて本当にうれしいうれしい事です。

たまたま現役の葺高生たちが、私たちの輪の中に。良い刺激を与えられたかな？

花見の笑顔の写真*想い写して心移して輝いています。

この輝きを確かに強く持っていたい、持ち続けたいと願っています。



第13回
親睦会

FSC2000

葺合高校・スポーツ・クラブ・2000

FSC2000（葺合高校・スポーツ・クラブ・2000）の第13回親睦会が、2月25日に中央区の中国料理店「群愛飯店」で開かれました。

この会は、現役時代に運動クラブで青春の汗を流した卒業生の交流の場、として2000年に立ち上げたものです。年1回の親睦会とゴルフ会を2回、開催しています。13回目の今回は7つの部から53人（女性4名含む）の先輩・後輩が集い、話に花を咲かせ、料理に舌鼓を打ちました。

今回の担当は野球部で、永島豊司氏（27回）が進行役となりました。会長の不動譲氏（11回生＝野球部）はあいさつで「この会は、野球部とサッカー部で行ったゴルフのチーム戦に、負けた方が食事をおごる、との話から始まりました。生田神社会館でスタートし、今回で13回になりました。年2回のゴルフ大会も続いています。運動部は縦のつながりですが、この会は横のつながりです」と、輪の広がりの大切さを語りました。

北風雅頌氏（8回生）の発声で乾杯し、じゃんけん大会では皆さん、童心に帰って歓声をあげました。

最後に、筒台会会長の志水利達氏（16回生＝サッカー部）が「母校は3年間で校舎を建て替えます。運営協力金へのご協力と、6月23日（土）の筒台会総会にはFSCの会員で100人の参加をお願いします」と呼びかけ、来年の再会を約束して終了しました。



ホームカミングデー

会長 志水 利達 (16回生)
<http://todaikai.net>

筒台会は、同窓生に「なつかしの母校再訪の機会を」との主旨で、2010年から母校の「葺高祭」に合わせてホームカミングデーを企画、開催して好評を得てきました。

ことしも「ぜひ続けて開催してほしい」との声と同時に、新校舎建設に伴い「恩師の教えを、思い出多い校舎で受けるのは最後になるだろう」と、青春時代へのタイムスリップを望む意見も寄せられています。

このため、筒台会ではことしも、下記の要綱でホームカミングデーを企画、開催致します。

記

◎日時 2012年6月16日（土）AM10:00～

（葺高祭の日です。現役生徒のパフォーマンス等、学校の企画も有ります）

◎場所 葺合高校視聴覚教室

◎内容 「恩師の話聞く会」

- ・1時限目神田先生（9代校長）／テーマ「ちかごろ思うこと」
- ・2時限目竹内先生（10代校長）／テーマ「英語と私」

平成23年は
5回生の3人の仲間が
相次いで書物を
刊行しました。



～私の手元に届いた3冊をアイウエオ順にご紹介します～

①加藤恒雄氏

『公共性をめぐる攻防』 発行所：ウインかもがわ
情報をすべて公開し、地域住民の声を聞け！公共事業のあり方を科学と連帯の力で国に問いかけた70年代、住民運動のドキュメント。

②坪田（丹下）萬貴子さん

『山の同志』 発行所：短歌新聞社
『山の同志』は私の第一歌集であります。昭和54年から平成21年までの作品より400余首をおさめました。（中略）夫は休日には山歩きを愉しみ、私も共に裏山の六甲山系や関西の山々に登り散策致しました。

③戸崎曾太郎氏

『兵庫の先駆者たち 続兵庫地域史人名録』
発行所：兵庫県自治体問題研究所
3年前に刊行された同名の書の続編。

兵庫県にゆかりの深い各界の人々を、2人ずつ組み合わせてエピソードを交えながら紹介するというユニークな構成。例えば、勝海舟と坂本龍馬、喜志康一と朝比奈隆、といったような組み合わせになっている。氏はまえがきの中でこう断っています。

本著は歴史研究などというたいそうなものではなく、楽しんで読んでもらえる読み物として書いています。

5回生広報担当 永田 良

葺合21期会からのお知らせ

葺合21期会 幹事会 会長 増田 信政

2000年に、第1回の「葺合21期会総会」を開いて以来、今年の総会で第4回目となります。実に12年の月日が経過しました。4年に1回「オリンピックイヤー」毎の実施。今年はロンドンオリンピック開催年になります。

21期会の仲間たちも還暦を過ぎ、悠々自適(?)の生活を送っている者、第2のお勤めで四苦八苦している者等々、様々ですが、団塊の世代で鍛えられた粘りと空元気でがんばっているようです。

さて、恒例となりました「葺合21期会の総会」を下記の要領で行いますのでお知らせいたします。

日程 平成24年10月27日(土)

場所 ポートピアホテル30階
「ブレンデトワール」

より多くの仲間たちが
集ることを
楽しみにしています!

葺合33期会からのお知らせ

幹事：野呂 良雄

葺合高校33回生 第3回同窓会

日程 2012年7月29日(日)
午後2時30分~

場所 グリーンヒルホテル神戸



『神戸市立葺合高等学校校歌』

作詞 荒木良雄
作曲 永井幸次

一、朝雲巻く峰を背に
て 学校建てり山の気の
清しき処集ひたる
若人われらひたぶるに
努め励みて知識磨かむ

二、眸放てば遠く茅渟の海
展けて青しこの船路
世界に通ふ大いなる
未来の希望わが胸に
ひびく明るさ讃へ拓かむ

三、泉清らかに澄みて筒井台
揺がず高し敬愛の
ゆかしき心澆渌と
若さにあふれ新たなる
真理求めて已まず努めむ

『神戸市立第一中学校校歌』

作詞 宮地雄吉
作曲 弘田龍太郎

一、筒台の邊に旭さしそひ
匂出でし若木の櫻
繚乱の春を競ひて耀ふよ
おし照る日影

二、摩耶の嶺に高し青雲
我が胸の理想にも似る
見はるかす茅渟の大海遼遠の
ゆくてに通ふ

三、日の本の文化の泉
筒台の園にこそ湧け
流れては末も廣らに天の下
うるほしゆかん

『生徒歌』

作詞 原清水
作曲 啓彰

一、春爛漫と咲き匂ふ
筒井が丘に新しく
友を迎へて今おどる
若さの集ひ葺合高

二、みどりに落つる布引の
岩もとどろに火花なす
力たくまし飛びしづく
わが青春の意気ぞこれ

三、月影清く天高き
秋筒陵の夜はふけて
空山落葉声もなく
思索の友のたたずめる

四、六甲摩耶に雪白く
荒涼万木枯れぬとも
やがて咲きなん若き芽は
下にはのかに萌ゆるなり

TOPICS 母校トピックス

早く広く知らせる「葦合ニュース」

広報企画部では、活動の一環として「葦合ニュース」を発行しています。「葦合ニュース」の目的は大きく2つあります。まず在校生の保護者や地域の方々に葦合高校の生徒のがんばっている姿を広く知っていただくためです。2つめには、中学生とその保護者及び中学校の先生方に葦合高校の生の姿を知っていただき、進路を決定するときの参考にさせていただくためです。

この目的のためにやってきたことは以下の通りです。

- ①行事ごとに「葦合ニュース」を発行し、広く関係者に配布
(例. オープンキャンパス、オープンハイスクール、葦合祭、体育大会)
- ②中学校訪問や中学校向け進路説明会での「葦高ニュース」の配布
- ③「葦高ニュース」を拡大して、行事終了直後に校門わきに掲示
- ④筒台会、筒友会などの会合で配布

広く人々に葦合高校の活動の様子を知っていただくために、これからも鋭意「葦合ニュース」を発行し、広報活動を活発に進めていきたいと思っております。

平成 23年 6月 15日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.8 2011

葦高祭



「THE 青春・～Be Thankful For Everything～」

6月10日(金)、11日(土)の両日、本校の文化祭「葦高祭」が催されました。

10日(金)は校内祭。3年生の各クラスや文化部によるステージ演技が全校生の前で披露されました。



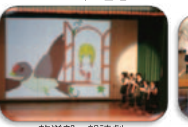
～1年・合唱～

葦高祭に向けて、毎年全学年でこれまで練習してきた歌「We are the world」を披露しました。元気のいい声が集まり、観客の心を癒やしました。



～3年・劇～

高校生活最後の葦高祭。テーマは「We are the world」を基調に平和の輪をつなげて羽ばたけ「Others」文化祭は生徒部の3年生の歌で盛り上げました。そして、クラス毎に創作した劇を披露しました。ウィットに富んだストーリーやダンスに観客は大盛り上がりとなりました。



～放送部・朗読劇～



～合唱部～



～吹奏楽部～



～ESS部・劇～

文化部によるステージ演技と有志のバンド演奏やダンスは2日に及び行われました。文化部の演技は、放送部が「朗読劇」、合唱部が誰もが聞き慣れた曲のダンス付き合唱、吹奏楽部が数曲の演奏、ESS部が独自のアレンジの「シンデレラ」を披露しました。

平成 23年 4月 5日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.1 2011年度

英語プレゼンテーションコンテスト優勝!

3月26日(土)に兵庫県立国際高等学校で行なわれました、第1回グローバル英語プレゼンテーションコンテストにおいて、本校国際科の川向寛実さん(受賞時2年)が1位に選ばれました。

このコンテストは兵庫県内の高校生に効果的な英語プレゼンテーション方法を体得させ、英語プレゼンテーションを通して英語による論理的思考力の向上を目指して、県立国際高等学校主催、兵庫県国際科・コース等設置高等学校長会後援で開催されたもので、葦合高校からは川向さんの他に1年国際科の加藤夢乃さん、星野順成君と1年普通科の堀内賢太君(学年は参加当時)が参加しました。審査員には神戸大学国際コミュニケーションセンター准教授の石川慎一郎先生、神戸市外国語大学大学院教授の野村和宏先生のお二方があたられました。

今回のプレゼンテーションのテーマは「兵庫県(京都のような)国際的な観光都市にするための私の提案」。川向さんは兵庫県のアピールポイントとして日本酒とエコロジーに注目し、「Cultural Ecological Tour In Hyogo」というタイトルで日本酒の醸造という伝統技術とそれを支える米作り、またその歴史的背景をなす農家や姫路城などの建築物、さらには農業を含めた自然環境保護の取り組みとしてのコウノトリの保護を兵庫県の観光スポットとして取り上げ、それらのスポットを周遊する1泊2日のパスターツアーを提案しました。川向さんのプレゼンテーションは審査員の先生方から高い評価を受けましたが、特に内容において、なぜ兵庫なのかという点が明確であること、歴史や土地・風土などバックグラウンドの文化を学べる点が高く評価されました。



【受賞した川向さんの感想】

このプレゼンテーションコンテストでは、プレゼンテーションについて「論理的に考える」ことについて学ぶことができました。また、今まで学習してきたことをプレゼンテーションという形で発揮できてよかったです。



11日(土)の一般祭では、大雨が予想されてお

り朝から雨が降っていましたが、開始と同時に止み、模擬店は賑わいとなりました。講堂や校舎では、文化部や1年生の展示、ステージ演技などが催され、保護者の方や地域の方など一般の方にも大勢来校いただき、今年のテーマの通り青春を感じ、感謝の気持ちを表す文化祭となりました。



～2年・劇～

2年生も、クラス毎にそれぞれのメッセージが決められた創作劇を披露しました。よく知られた昔話をアレンジしたり、ダンスを盛り込んだ劇で観客の目を魅了しました。



～2年・展示～

2年生の展示は「～がんばるよ日本～ 神戸 葦合高校からの発信」がテーマです。3月11日に起こった東日本大震災を契機に、4月から総合学習の時間で「東日本大震災」と身近に震災を経験した人にならうという「東日本大震災」について取り組みがなされました。一人ひとりが震災について考えたことをまとめて、展示しました。



～1年・展示等～

1年生にとっては、初めての葦高祭。当日までに、各クラスがパンフレットや校内マナーコンプレッション、募金活動やメッセージ作成、パルムアート展示、ゲームに分かれて作成に当たり、葦高祭を盛り上げました。



～2年・模擬店と校内の様子～



～3年・模擬店～

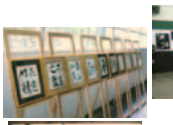


～3年・模擬店～



～3年・模擬店～

2、3年生は、創りだけでなく、一般祭では各クラスが模擬店を出しました。3年生は、ホットケーキ、餃子、焼きそば、焼きそば、たこ焼き、串焼き、アメンコ、2年生は、カステラ、スナックパン、こんにゃく餅、シューベツ、ドーナツ、ポップコーン、たこせん出汁、串焼きの揚げたてを販売しました。おもしろい模擬店もあり、あっという間に完売となりました。



～書道部・展示～



～写真部・展示～



～美術部・展示～



～茶道部・茶席～

文化部では、茶道部(茶席)、美術部(展示)、書道部(展示)、文芸部、写真部(展示)、写真会(活動報告)、放送委員会(DJブース)とそれぞれこれまでの活動発表する機会となりました。

～すぎな会・活動報告～

平成 23年 6月 16日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.9 2011

東日本大震災復興支援募金のお礼



6月11日に行われました本校文化祭(葦合祭)の一般祭では、生徒会およびPTAでそれぞれ東日本大震災復興支援のための募金活動が行われました。



生徒会は正門フェニックス前のテントや正門付近で募金活動を行ない、総額 **81,597** 円の募金が集まりました。また2年生は総合的な学習の時間で震災についての学習活動を行ない、そのまともを校内で展示し、ボランティア活動を行なう「すぎな会」も独自に東日本大震災についてのレポートを掲示しました。生徒会の募金はあ

しなが育英会に寄付いたします。

PTAは復興支援のために、本校のマスコットキャラクターのフキックスをあしらったハンドタオルを1000枚用意したところ、来校された方のご協力により完売し、制作のための実費を差し引いて募金額は**11万円**となりました。また、これとは別に震災復興支援募金も行い、**1万8千円**の募金が集まりました。PTAに集まりました募金は宮城県気仙沼市の本吉響高等学校に寄付することになりました。ご協力いただいた方々に心よりお礼申し上げます。



平成 23年 9月 6日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.17 2011

イングリッシュサマーセミナー開催

8月18日(木)、19日(金)の二日間、兵庫県高等学校野外活動センターあさぎり寮にて、本校1年生を対象としたイングリッシュサマーセミナーが行われました。

このイングリッシュサマーセミナーは、毎年1年生の希望者を対象に一泊二日の日程で、英語だけで生活することでより深く英語になじむとともに、多くの外国人講師とふれあうことで外国の文化についてもより身近に感じる機会として行



われるものです。今年参加したのは1年生66名、外国人講師の先生方が15名、葦合高校卒業生2名。外国人講師の先生方が中心となり、参加生徒はネイティブスピーカーと2日間共に過ごし、生きた英語や彼らの国の文化を楽しむことができました。

始めは緊張していた生徒たちも、趣向を凝らしたゲームや歌などの活動を通して自ら積極的に外国人講師と英語で話し、いきいきとした表情で活動に取り組んでいる様子がうかがえました。

メインの活動であるスキットについても外国人講師と共に各グループ英語で準備をすすめ、どのグループも立派に発表することができ、大いに盛り上がりました。



平成 23年 7月 15日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.12 2011

暴走族追放マナーアップキャンペーンで葦合高校生が一日警察署長に

7月14日(木)午後3時より三宮で行なわれた「高校生による暴走族追放少年マナーアップキャンペーン」で、本校2年国際科の久宝智美さんが一日葦合警察署長となり、キャンペーンに参加しました。

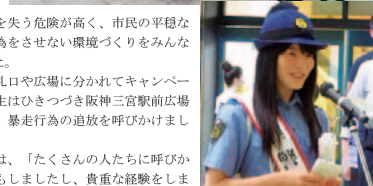


このキャンペーンは高校生が同世代に暴走族に入らないように呼びかけるもので、葦合警察署などが市内の各高校に呼びかけて行なわれました。当日は16校、90名が参加し、葦合高校からは生徒会長の久宝さんを含めて生徒会役員9名が参加しました。

キャンペーンの開会宣言は阪神三宮駅の北改札口前広場で行なわれ、久宝さんが一日警察署長として、「命を失う危険が高く、市民の平穏な生活を妨げる迷惑行為である暴走行為をさせない環境づくりをみんなですていしましょう」と挨拶しました。

その後、各高校生は三宮近辺の改札口や広場に分散してキャンペーン活動を行ないましたが、葦合高校生はひきつづき阪神三宮駅前広場で通行する方々にティッシュを配り、暴走行為の追放を呼びかけました。

一日警察署長をつとめた久宝さんは、「たくさんの人たちに呼びかけるこのような機会は初めてで緊張もしましたが、貴重な経験をしました。」と感想を述べていました。



平成 22年 9月 28日

神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.19 2011

2011 体育大会 開催

9月19日(祝)、体育大会が開催されました。台風の影響で実施が危ぶまれましたが、気温もさほど高くなく、絶好の体育大会日和のもと、生徒たちはクラス・学年の勝利をめざして懸命に競技しました。

大勢の観客が見守る中、全校生徒でのきりりと引き締まったラジオ体操から始まりました。学年・クラスの競技種目と全クラスの選手が優勝目指し、大いに盛り上がりを見せました。また、プラスバンド部によるマーチングの演技、部対抗リレー、2年生・3年生有志によるダンスと、日頃の活動成果の披露も行われました。

今年の優勝学年は2年生、優勝クラスは2年3組となりましたが、何よりもクラス・学年・部の仲間たちを応援し、一緒に喜びあう楽しさ、すばらしさを味わえたことが、この体育大会のもっとも思い出となることでしょう。



平成23年11月4日

神戸市立葦台高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.22 2011

第14回ジョイントコンサート開催



10月30日(日)午後2時より、葦台高校講堂にて第14回ジョイントコンサートが開催されました。このコンサートは本校に隣接する上筒井小学校PTAが主催する小学生や地域の方々を対象としたコンサートで、同じく本校に隣接している筒井台中学校の吹奏楽部と本校のコーラス部・吹奏楽部が演奏を披露しました。



当日はあいにくの雨天でしたが90名あまりの幅広い年齢の方が参加。プログラムは、まず本校コーラス部が「ドレミの歌」や「赤いスイートピー」などの曲を披露。続いて筒井台中学校吹奏楽部がグレン・ミラーオーケストラのスタンダードナンバーのメドレーなどを演奏し、16名という小編成ながらも、しっかりと音量と響きを聞かせてくれました。



休憩をはさんで本校吹奏楽部が「ヤングマン」などを演奏。会場に来ていた子どもたちに指揮や、一緒に楽器を演奏する体験もしてもらいました。

プログラムはこの他に、本校吹奏楽部とコーラス部の合同演奏、そして筒井台中学校と本校の吹奏楽部の合同演奏があり、アンコールでは「マルマルモリモリ」を演奏し、会場の子どもたちも一緒に踊りました。



平成23年11月8日

神戸市立葦台高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.24 2011

チャーチル杯スピーチコンテスト全国大会優勝!



去る11月5日(土) 青山学院大学にて、第60回チャーチル杯全国大会が行われ、本校国際科1年の石附夏歩さんが優勝しました。

チャーチル杯スピーチコンテストは、1952年、日本人高校生の英語能力育成を目的に関西学院大学ESS部により始められ、1958年にウィンストン・チャーチルの承認を得て、彼の名前を取ってチャーチル杯と名付けられました。同年より青山学院大学との共催となり、1965年よりブリテイッシュ・カウンシル(英国文化復興会)の支援を受け、今年で60回目となる伝統ある英語スピーチコンテストです。

この全国大会では予選となる東日本大会・西日本大会を勝ち上がってきた精鋭12名が競い合い、本校からは西日本大会を突破した国際科1年の石附夏歩さん・2年の小林沙英さんの2名が参加しました。

2年の小林さんは「The New Hibakusha」と題して、今回の東日本大震災の被災者に対して、われわれはどんな態度を取るべきか、決して差別的態度を取るべきではないと力説しました。

1年の石附さんは「One Kind, One Family, One World」と題して、貧困で苦しむアフリカの子供たちの問題に触れ、われわれができることは何かを問いかけてました。彼女の家族はタンザニアに住むアイシャさんに学費支援の活動を始めており、たとえ小さなことでも何かできることはあるはずだと訴えかけました。

2人も精一杯持てるものを発揮し、取り分け石附さんは、英語力・表現力共に、強敵ぞろいの参加者の中でも、群を抜くような最高のパフォーマンスを見せてくれ、見事優勝することができました。



平成23年11月25日
神戸市立葦台高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.27 2011

高大連携授業

11月22日(火)5限と7限、本校教室にて大学の先生による出張講義、「高大連携授業」が行われました。5限は1年生、7限は2年生を対象として計6大学6名の先生方においていただき、「ここからだの関係」「教師論」「やる気をめぐる心のしくみ」「インテリアデザイン概論」など、各先生方の専門領域についてわかりやすく講義していただきました。

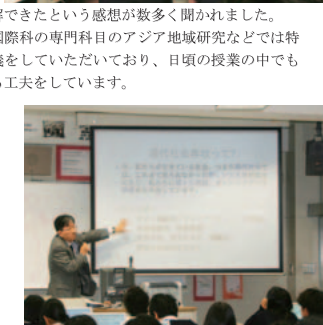


この高大連携授業は大学の専門領域の学問に触れることで、大学で学ぶことについてより深く理解するとともに、さまざまな分野について興味関心を広げ、進路について考える機会とすることを目的として行われています。

今回講義を聞いた生徒からも、全く未知の分野について知った驚きや、大学で学ぶことのおもしろさ、意義について理解できたという感想が数多く聞かれました。



また、今回の高大連携授業の他にも、国際科の専門科目のアジア地域研究などでは特別講師として大学の先生をお招きして講義をさせていただいており、日頃の授業の中でも専門的な講義を取り入れて、理解を深める工夫をしています。



平成23年11月25日
神戸市立葦台高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.28 2011

フィラデルフィア市派遣プログラム

～引率者(増見 誠)報告～

11月13日(日)～19日(土)まで、神戸市とアメリカ・フィラデルフィア市の親善協力都市提携25周年を記念して、教育分野において5名の神戸市立高校生からなる訪問団を結成し、現地高校生(Bodine High School)との交流(授業参加、プレゼンテーション、ホームステイ)を行いました。葦台高校からは2年1組古川華子さん、2年2組野末生さん、そして引率教員として私が同行しました。片道合計24時間の大変な移動ではありましたが、台案国境越境の地に足を踏み入れると様々なものが新しく、気持ち引き締まりました。

滞在1日目はフィラデルフィア市のご配慮でチャーターしていただいたバスで町を散策しました。自由の象徴である「自由の鐘」、「独立記念館」、映画「ロッキー」シリーズに登場した「フィラデルフィア美術館」など様々なエリアを回り、「アメリカ最古の都市」を感じることができました。昼からはいよいよBodine High Schoolに赴いた後、学校案内をしていただき、ホームステイパバとの対面となりました。様々な民族が融合した高校の様子は最初は戸惑いもある様子でしたが、授業を受け、お互いの理解が深まるうちに民族を超えた貴重な「友情」を得ることができたようです。最終日は涙の別れでした。

さて、現地校でアメリカの同世代の人たちに伝えたいこととして以下の3つの柱について20分のプレゼンテーションを用意しました。

- ①神戸の町の素晴らしさ
- ②3月に起こった地震について。阪神淡路大震災の時に生まれた私たちからのメッセージ。
- ③JPOPについて。AKB48紹介と、ダンスパフォーマンス

他の市立高校生との打ち合わせ、準備にたった3回しか日程が取れませんでしたので、ときどき内容を精選してまとめていく姿に「さすが神戸市から選ばれた代表」と驚かされました。当日の発表では、現地校の生徒達は熱心に聞き入り、活発なやり取りも見られ、素晴らしい情報共有の場となりました。

様々な民族、文化が集う高校での交流活動も大成功を取め、ホームステイや授業参加を通じて、「多文化共生」という大きなテーマに触れることができ、訪問団にとっても大きな学びにつながる一週間でした。

2年 古川 華子

今回の訪問で、私の視野がすごく広がったと思います。国や、人によって違いがあるのは当たり前ですが、改めてそれを考えさせられました。私は、現地の高校生たちが日本のことをあまり知らないことに驚きました。私たちと交流をしたことで、日本や神戸について興味を持つきっかけになったと思います。私にとって初めての体験ばかりでとても刺激的な1週間でした。この貴重な体験をこれから生活に生かしていきたいです。



平成 23年 12月 8日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.30 2011

兵庫県高等学校英語スピーチコンテスト2位 スピーチコンテスト近畿大会出場

去る 11月 26日 明石市市民会館において、第 26 回 兵庫県英語スピーチコンテストが行われました。本校からは 1 年国際科のキッチンアイリンさん、下川 菜々香さん、2 年国際科の加藤夢乃さん、田野佑理子さんの 4 名が参加し、キッチンさんが見事 2 位となり、近畿大会出場を決めました。

キッチンさんは "More Than the Movies" 「真実の世界を」と題して、ハリウッド映画で話題となった海賊を取り上げ、貧困で苦しむソマリアの海賊の真実を切々と伝えました。その上で、「豊かな国に生まれた私たちこそ、彼らに手を貸すべきではないか。そして、手助けの第 1 歩は（隠された）真実を知ることから始まるのでは。」と私たちに語りかけました。

今大会に参加した 4 名は、7 月に行われたフェニックスカップ（校内予選）から、9 月の市商大会、更に 10 月の神戸支部大会を勝ち上がってきた生徒です。準備を含めると、なんと半年に渡って、1 つのスピーチを発表し続けてきたこととなります。

近畿大会出場は本校にとって 3 年ぶりの偉業で、キッチンさんの大会での健闘を心より祈ります。



右から二番目がキッチンさん



平成 23年 12月 22日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.34 2011

台湾修学旅行

この 1 2 月 13 日から 16 日まで 3 泊 4 日の日程で、2 年生の台湾修学旅行が行なわれました。台湾では、第一日目に故宮博物院を見学。二日目には宿泊地の台北から台中へバスで移動して、姉妹校の台中一中と交流しました。三日目は午前中、碧湖劇場で京剧を鑑賞した後、中正記念堂前に集合。そこからは班ごとに台北市内研修（B&S）をしました。台北市内研修では、各班で自分たちの作ったルートに沿って現地の大学生とともに市内各地を見学しました。最終日の第四日は全員で九分を見学。あいにくの雨でしたが古い藍山町の独特の趣を味わうことができました。



修学旅行委員長 末廣さんの感想（抜粋）

思い出に残っているのは B & S です。現地のお姉さんがとても可愛く良い人で、さよならするのがとてもさみしかったです。下町に行って台湾の雰囲気を感じたり、現地の人たちの優しさに触れることができました。

最終日の九分では雨でしたが、雨ならではの風景もすてきでした。どこに行っても日本のカードゲームやお菓子、文具、日用品を目にしたのが印象的でした。日本の文化はとても浸透しているようだったので、人と人との関わりももっと増えれば良いと思いました。

平成 24年 1月 20日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.37 2011

マラソン大会開催

1 月 19 日（木）、神戸市中央区の HAT 神戸ハーバーウォークにてマラソン大会が開催されました。あいにく小雨がぼらつく寒空の中のスタートとなりました。1・2 年生生徒 560 名が、男子 10km、女子 6km のコースを走りました。

結果は、個人成績では、男子 2 年生の堀川 朋輝くんが 35 分 48 秒、女子 2 年生の堀井 果歩さんが 23 分 36 秒で優勝しました。学級対抗では、1 位が 2 年 5 組、2 位が 2 年 4 組、3 位が 1 年 3 組という結果でした。

上位入賞者だけでなく参加者みなが懸命に走る姿を、応援にいられた保護者の方やコースになっているなぎさ公園を通りかかった方も温かく見守っていました。



ゴール！

平成 24年 2月 1日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.38 2011

韓国研修旅行

1 月 13 日（金）から 17 日（火）まで 4 泊 5 日の日程で、韓国研修旅行が実施されました。この研修旅行は、神戸市の姉妹都市である仁川（インチョン）市にある信明（シンミョン）女子高校からの提案により実現したもので、信明女子高校と中国北京市第 7 中学および本校の 3 校合同の国際交流プログラムとして行なわれました。本校からは、訪問先が女子高校のため女子生徒 15 名と引率教員 2 名が参加。生徒たちは信明女子高校の生徒宅にホームステイをしながら、生の韓国文化に触れ、交流を深めました。滞在中には、信明女子高校を始め、韓国南東部の慶州（キョンジュ）にある世界遺産の石窟庵と仏国寺や安東、ソウル市内では大統領官邸や有名な繁華街、明洞（ミョンドン）を訪れました。信明女子高校では歓迎行事があり、参加校がそれぞれ発表を行い、葦合高校は日本紹介、葦合高校紹介、ダンスなどを披露しました。また、安東で韓国伝統の先祖を敬う儀式のレクチャーを受けたり、韓国の民族衣装のチマ・チョゴリの着付けや韓国式のお茶の作法、そして目上の人に対する伝統的な礼の作法を体験しました。今回の韓国研修旅行は、現地でもほとんどの日程を韓国の信明女子高校の生徒たちと過ごし、互いに親しくなったことは大きな成果でした。



【参加生徒のレポートより】

今回の韓国派遣では文化を学べただけでなく、私のこれからの生き方も考えさせられるものとなりました。韓国の学生は夜 10 時まで勉強しなければいけないらしく、私たちが日本に帰った日でさえ勉強に行くと言っていました。そんな生活なのにいつも明るくて、決していやな顔をせずに毎日楽しんで暮らしているみんながすごいと思いました。それと同時にそんな忙しなホームステイの受け入れをしてくれて、そのためにたくさん準備をしてくれたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。私もこれから受験を迎えますが、韓国の人々を学習ってがんばりたいと思います。本当に韓国派遣に参加できてよかったです。また韓国を訪れてみんなに会いたいです。（2 年 松本優衣さん）

平成24年2月3日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.39 2011

少林寺拳法部 全国大会出場

去る12月24日(土)、25日(日)に京都府宇治市の山城総合運動公園にて行なわれました少林寺拳法近畿大会において、本校少林寺拳法部が優秀な成績をおさめ、全国大会に出場することが決定しました。全国大会は、3月24日(土)、25日(日)に香川県多度津市で行われます。

近畿大会での本校少林寺拳法部の成績(全国大会出場者)

規定組演武(女子)

- 8位 矢野笑子・安藤理香子
- 10位 藤田朋花・三浦真由子

規定単独演武(女子)

- 準優勝 田中桃子

規定組演武(男子)

- 9位 永田 建・星野順成



合掌

今回、男子2名、女子5名、計7名の全国大会出場が決定し、本当に嬉しいです。私個人としては、この大会をおとして、自分の成長とともに、先輩として後輩たちに何か残せたらいいなと思います。

全国大会に出場できたのも、監督八木先生、先輩方のご指導、顧問の先生、周りの方々のサポート、そして何より日々一緒に練習している仲間のおかげだと思います。感謝の気持ちを忘れず、残り1ヶ月間練習に励みたいと思います。

応援よろしくお願ひします。

結手

(部長 藤田 朋花)

平成24年2月3日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.40 2011

兵庫県高校生英語ディベートコンテスト準優勝!

1月29日(日) 姫路西高校において、兵庫県高等学校教育研究会英語部主催の第5回兵庫県高校生英語ディベートコンテストが行われました。今年は県下より21校が参加し、本校からは国際科2年生の淺田理沙、金銀珍、小林沙英、田野佑里子、當間美波の5名からなるチームが出場しました。

今年の論題は“Death penalty should be abolished in Japan.”。日本の死刑制度は廃止されるべきかという主張について肯定側と否定側に分かれて論を立て、議論の優劣を競いました。議論は英語で行なわれますが、単に英語力ばかりでなく、立証し、反論を論理的に展開する力や、論を裏付ける資料の調査も求められます。

試合は予選により本選出場の8校が決定され、本選はトーナメント形式で行なわれます。肯定側か否定側かはその都度変わるため、どちらの側に立っても論じられるように周到に準備する必要があります。

本校は予選トップの成績でベスト8に進出。準々決勝、準決勝と順調に勝ち進み決勝に臨みました。決勝の対戦相手は灘高校の男子4名のチームでしたが、内容的にはほぼ五角の立派な試合ぶりを見せてくれました。試合には敗れたものの、誇るべき準優勝です。

昨年末に代表生徒として選ばれた5名の皆さん、2ヶ月に渡る準備と、大会当日の活躍、本当にご苦労様!



本校は予選トップの成績でベスト8に進出。準々決勝、準決勝と順調に勝ち進み決勝に臨みました。決勝の対戦相手は灘高校の男子4名のチームでしたが、内容的にはほぼ五角の立派な試合ぶりを見せてくれました。試合には敗れたものの、誇るべき準優勝です。

昨年末に代表生徒として選ばれた5名の皆さん、2ヶ月に渡る準備と、大会当日の活躍、本当にご苦労様!

平成24年2月28日
神戸市立葦合高等学校 広報企画部

FUKIAI NEWS No.46 2011

平成23年度卒業式



2月28日(火)午前10時より、国際科9回生、普通科64回生の卒業式が行なわれました。今年は、国際科男子14名、女子66名、計80名、普通科男子80名、女子116名、計196名、合計276名の生徒が卒業証書を授与されました。

式では、拍手に迎えられる卒業生入場後、国歌、校歌斉唱に続き、卒業証書の授与が行なわれ、クラスごとに一人ずつ呼名ののちにクラス代表が校長より卒業証書を受け取りました。



式辞では田阪校長より、日本の将来を担うリーダーになることを期待しているとの励ましの言葉がありました。在校生送辞では2年生の家頭君が、部活動などで卒業生に励まされ、導いてくれたことへの感謝の気持ちと、校舎が変わり今までの形あるものがなくなっても、葦合高の歴史と魂は誇りを持って引き継ごうという決意とを述べました。

卒業生答辞では、3年生代表の広瀬さんが、高校生活の思い出を詠んだ卒業生たちの短歌を綴りながらこの3年間を振り返り、一緒に目標に向かって切磋琢磨してきた仲間たち、人との信頼関係の大切さを教えてくれた先生方や3年間支え続けてくれた家族への感謝の言葉と、理想の自分に向かって歩いていこうという思いを語ってくれました。

その後、卒業生は参加者全員の拍手に送られて式場をあとにしました。現在の校舎がすべて残っている状態での卒業式はこれが最後となります。そういう意味でも思い出深い卒業式となりました。



フェニックス賞

このメダルは本校菊川晋久元教諭の作である



メダルは金賞、銀賞及び銅賞

母校では、学校生活や地域社会における諸活動に、特に積極的に、継続的に取り組んだ生徒を表彰するためにフェニックス賞を設けています。下記の部門があります。

- 3か年皆勤の部(金賞)
- 2か年皆勤の部(銀賞)
- 1か年皆勤の部(銅賞)
- 奉仕活動の部
- 研修の部
- 努力の部
- 部活動の部
- 生徒会活動の部
- 善行の部
- HR活動の部
- 国際交流の部

平成23年度卒業生受賞者数 136名

3か年皆勤の部	47名	部活動の部	24名
2か年皆勤の部	23名	生徒会活動の部	7名
1か年皆勤の部	16名	努力の部	19名

「フェニックス賞」の由来

フェニックスは本校玄関前にそびえる大樹であり、また、灰の中から何度も生まれ変わる霊鳥の名前でもあります。大樹のようにたくましく、不死鳥のようにいききと、本校生徒が育つようにという願いを込めて名付けられました。

平成23年度

部活動の主な成績

【運動部】

陸上競技部
 ・兵庫県ユース陸上競技大会
 走り幅跳び 第3位

体操部
 ・県 総 体 女子団体 第6位

少林寺拳法部
 ・県 総 体 女子単独演武 第2・4位
 女子総合 第2位
 女子団体演武 第3位
 ・全国選抜大会 女子規定単独演武 第5位
 ・近畿大会 女子規定単独演武 第2位
 ・県新人大会 女子団体演武 第3位
 女子規定単独演武 第2位
 女子規定組演武 第2・3位
 男子自由組演武 第4位

女子硬式テニス部
 ・神戸丹有地区夏季団体戦 2部リーグ優勝
 ・神戸丹有地区秋季団体戦 準優勝

なぎなた部
 ・市 総 体 演技の部 優勝・第2位
 個人の部 第2・3位
 団体の部 優勝

柔道部
 ・市民大会 女子 第2位

【文化部】

吹奏楽部
 ・県吹奏楽コンクール 銀賞
 ・県アンサンブルコンテスト打楽器七重奏 銀賞

E・S・S部
 ・県スピーチコンテスト 第2位
 ・県ディベートコンテスト 第2位

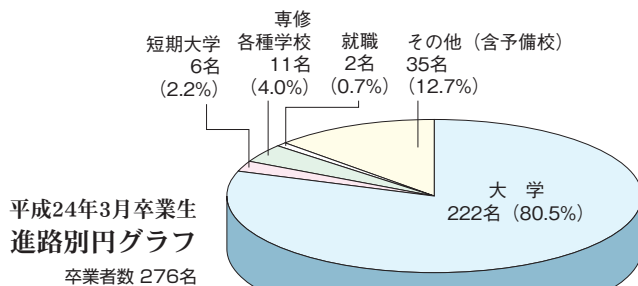
写真部
 ・県春季フォトコンテスト 入選

放送部
 ・NHK杯兵庫県大会 奨励賞

平成24年度

卒業生進路状況

※ 数字はすべて延数で、既卒者も含む
 ※ 個人情報保護の観点から連絡のない大学・予備校等もあるため、実際はもう少し多いと思われます。



国公立大学

京都府立大 1	金沢美術工芸大 1	広島市立大 1	滋賀県立大 1
国際教養大 1	大阪大 5	大阪府立大 1	神戸大 1
神戸市外国語大 3	神戸市看護大 2	兵庫県立大 5	岡山大 2
滋賀大 1	大阪教育大 3	鳥取大 1	奈良教育大 3
福岡教育大 1	大阪市立大 2	大阪府立大 1	島根県立大 1

19大学35名

私立大学

早稲田大 5	上智大 5	立教大 2	明治大 1
青山学院大 2	同志社大 33	同志社女子大 4	立命館大 20
京都産業大 8	龍谷大 5	京都女子大 5	京都外国語大 5
関西大 63	近畿大 56	関西外国語大 15	大阪医科大 1
関西学院大 74	甲南大 33	甲南女子大 10	武庫川女子大 22
大阪薬科大 1	兵庫医療大 6	神戸女学院大 7	神戸学院大 20

立命館アジア太平洋大 4

など67大学502名

短期大学(短期大学部を含む)

大阪音楽大短大部 1	神戸女子短大 2	武庫川女子大短大部 4	頌栄短大 3
------------	----------	-------------	--------

など6大学12名

専修各種学校

関西労災看護専門学校 1	大阪厚生年金看護専門学校 1	大阪労災看護専門学校 1
--------------	----------------	--------------

など14校16名

公務員

2名

寄 10万円 贈

神戸市立第一中学校の第1回卒業生の集い「甚六会」から、校舎建て替え協力（運営協力金）として10万円が寄贈されました。

「甚六会」世話役の則武義治郎氏から2月20日に、次のような内容のお便りをいただきました。

昨年6月20日、神戸ポートピアホテルで第20回「甚六会」を開催し、17人が参加して旧交を温めました。しかし、会員の高齢化に加え、世話役の負担も大きくなったため、会の解散を決定しました。解散にあたり、会の預り金のうち10万円を新校舎建設に伴う筒台会の備品購入費用として寄付いたします。

筒井が丘の地に神戸市立神戸中学が産声を上げたのは1939年（昭和14年）でした。創立70周年記念誌には生徒4学級200名が入学、と記されています。1943年（昭和18年）に神戸市立第一中学校と改称し、1944年（昭和19年）に第1回の卒業生となられたのが「甚六会」のメンバーです。2009年度の筒台会会員名簿には物故者となられた方々を含めて181名の名前が掲載されています。

母校の歴史の第一ページを開いてくださった大先輩のみなさまです。戦時色が濃くなるなかで学ばれ、戦後の混乱期を過ごし、その後の日本の発展の礎を築き、牽引してこられた方々といえるでしょう。

お礼

このたびは、校舎建て替え協力金にご寄贈いただき心より御礼申し上げます。校舎建て替えに伴う資金として活用させていただきます。

母校70有余年の歩み、そして筒台会の歴史も「甚六会」の皆様方の温かい眼差しに見守られていたのだ、との思いを改めて深くしています。筒台会はこれからも、第一中学の宮地校長が唱えられた「カミソリのような人間になるよりも、木刀のような人間たれ」との“木刀精神”を礎に、現在の教育方針の「自主の人たれ 創造の人たれ 世界の人たれ」に、手助けができる活動を続けたいと思っています。20年間の長きにわたり連続して開催してこられた「甚六会」を解散された、とのことですが、これからも母校、筒台会への変わらぬ温かい眼差しとご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

筒台会会長 志水 利達（高校16回）

Profile Interview

葺合高校OB・OGで各界、各層で活躍しておられる方々にお聞きしました。

- ① 氏名
- ② 職業
- ③ 卒業年度
- ④ その他
- ⑤ 現在の活動状況
- ⑥ この道に入るきっかけ
- ⑦ この道に入って一番うれしかったこと苦しかったこと
- ⑧ 将来の目標
- ⑨ 葺高時代の一歩の思い出
- ⑩ 筒台会会員に一言

この人に聞く



- ① 田淵義朗
- ② ソーシャルメディアリスク研究所 代表
社団法人情報セキュリティ相談センター 理事長
- ③ 昭和50年卒・第27回生
- ④ 一浪して、弁護士目指して中央大学法学部に進学しました。遊びが過ぎて無理になり、宝島社（当時JICC）という出版社に就職しました。

ここで出版のイロハを徹底的に勉強しました。その後ギャガコミュニケーションズという映画配給、ビデオ化権売買の会社に転職、ビデオインサイダージャパンの創刊で出版部長を引き受け、その後また転職、光栄（現・コーエー）というゲーム会社でシミュレーション時代小説の編集やゲーミング学会を創るための事務局運営の仕事などをしていました。

35歳のときに独立、光栄の株式上場で得たお金を元手に、マルチメディア制作プロダクションを設立しました。98年にマルチメディアパブルがはじけて、15人居た社員を整理、私自身もつらい時期を過ごしました。



企業の人事部が集まったセミナーで「IT時代の人事管理」をテーマに講演

45歳になってこのままではいけないと思い、一念発起して本を書く仕事を始めました。ここで昔の出版経験が活かしました。明日香出版社の石野社長との出会いに恵まれ、「ホームページで儲ける」が大ベストセラーになり、印税を元手にネット情報セキュリティ研究会の活動をweb上で開始、2年前に社団法人も立ち上げ、一昨年10年以上活動してきた研究会を現在の会社に衣替えして、いまに至っています。



- ⑤ ソーシャルメディアのリスクの研究。ネット上の書き込みの各種調査から、社員研修、企業サイトの企画、コンテンツ制作、CMSの導入までお手伝いしています。
- ⑥ この道に入るきっかけは、本が売れたことです。売れたというのは、そこにニーズがあるわけですから。「この道」というほど誇れるものもなく、行き当たりばったりの人生なので、お手本になりません。
- ⑦ 一番うれしかったことは、ネットに誹謗中傷を書き込んだ犯人を調査で割り出し、友人の弁護士と協力して起訴にまで持ちこみ、判決で勝訴し依頼者から感謝されたことです。ネットの匿名者の犯人特定は、結構大変だったりしますので。
- ⑧ 将来の目標は、社業の傍ら、ビジネス作家として、新たな境地を拓くような作品を書きたいです。今は実務書が中心なので、エッセイとか小説のようなジャンルですね。そのためには執筆力をつけないと。
- ⑨ 悪友と授業を抜け出して、三宮に映画を観に行ったこと、当時少年団で六甲山荘を管理していた思い出など。一番の思い出は、「すぎな会」というボランティアサークルを創ったことかな。私が創設者なんです。高木先生に顧問をお願いしました。現在はどうなってるのですかねえ。
- ⑩ 葺高生に一言は「人生山あり谷あり」ですから、苦しい時をいかに楽しみ、調子のよい時は謙虚に生きる、ということかな。社会的な名声や、会社での役職などで人の評価は決まりません。お金を失うこともつらいですが、信用を失うのはもっと致命的です。だから自分に素直に生きて下さい。友だちを大事にしましょう。それと、名刺は8枚持つて下さい。これからの時代、8つぐらいの肩書を持って仕事をすべきです。一つの事を極めるのも良いですが、リスクの多い時代ですから、いろんなことにチャレンジして、交流を広げ、そして深めて下さい。フェイスブックに居ますので、またそこでお会いしましょう！

Facebook【会社】：<https://www.facebook.com/Mediarisk>
Facebook【個人】：<https://www.facebook.com/ytabuchi>



平成24年度筒台会役員(案)

顧問(常任)

9代校長	神田民枝
10代校長	竹内静夫
12代校長	絹笠清二
13代校長	大月民義
15代校長	小嶋良平
16代校長	山崎秀昭
17代校長	油谷健夫
18代校長	二宮尊志
19代校長	田中一好
20代校長	田阪義英

相談役(常任)

中3	名村嘉之
中5	三木谷良一
高8	北風雅頌
高8	山西乙平
高8	久本捷功
高11	松宮功

会長	高16 志水利達		
副会長	高16 榊原充俊	高17 渡部隆	高18 古川浩
東京支部長	高17 渡部隆		
役員	高16 村井治美	高19 木村晃子	高20 森本克幸
	高21 達脇寛	高21 武内福子	高21 寺内修
	高22 坂本裕子	高22 石谷健次	高23 芦田尚
	高23 大庭義弘	高24 黒田勇	高24 進木健三
	高33 遅秀蘭		
会計	高27 坂口秀昭	高33 増田精三	高38 谷口昌樹
会計監査	高11 小林寛子	高33 村松公人	
事務局	高27 北風公基	高39 兼子美佐	高40 村上ひろ子
	高41 辻本正子		

◆平成24年事業計画(案)◆

1. 運営基盤の確立

(資金面)

- 筒台会運営協力金(会報協力金含む)のお願い
- HP/バナー広告のお願い
- 会報の広告協賛のお願い

(施策面)

- 活動しやすい組織の確立
(委員会組織で委員長に権限移譲)
- 役員会を活性化し、決定事項を実行する
- 情報の共有化・見える化

2. 母校の新校舎建設に対する協力体制を作る

3. 母校へのバックアップ体制の支援

- フェニックス賞の贈呈支援
- 部活動への支援

4. (葺合祭)ホームカミングデーの開催・同窓生の動員

- 6月16日(土)



後列左から 坂本裕子、小林寛子、村松公人、寺内修、増田精三、
達脇寛、武内福子、黒田勇、村井治美、坂口秀昭、
石谷健次
前列左から 遅秀蘭、木村晃子、古川浩、志水利達、榊原充俊、
森本克幸、進木健三

神戸市立葺合高等学校 筒台会

平成24年度 定時総会

- 日時 平成24年 6月23日(土)
受付 4:30PM~
定時総会 5:00PM~
懇親会 6:00PM~
- 場所 神戸ポートピアホテル

◆議事次第◆

- はじめのことば
- 会長の挨拶
- 来賓の挨拶
- 議長選出
- 第1号議案 平成23年度会務報告
- 第2号議案 平成23年度会計報告
- 第3号議案 平成23年度会計監査報告
- 第1・2・3号議案質疑応答及び承認を求める件
- 第4号議案 平成24年度事業計画案
- 第5号議案 平成24年度予算案
- 第4・5号議案質疑応答及び承認を求める件
- 筒台会東京支部活動現状報告
- おわりのことば

◆懇親会◆

- はじめのことば
- 会長のあいさつ
- 来賓の挨拶
- 助成金の贈呈
- 乾杯の音頭
- 会食および歓談
ご出席の恩師並びに同窓生の方々からのお言葉をいただく
- 万歳三唱
- おわりのことば

◎平成23年度 決算報告書◎

◇経常費

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	9,713,112円	総会費	1,179,624円
会費	3,002,100円	会議費	114,627円
総会参加費	640,000円	事業費	1,516,660円
会報協力金	2,197,100円	(内訳)	
(内訳)		事業費	182,700円
会報収入	1,430,920円	国際協力金	200,000円
会報広告料	766,180円	部活動支援金	300,000円
運営協力金	1,668,120円	卒業記念品	533,960円
雑収入	29,843円	教育推進費	300,000円
(内訳)		通信費	926,323円
バナー広告料	24,000円	印刷費	1,093,365円
寄付金	5,000円	慶弔費	128,000円
受取利息	843円	交通費	208,820円
		東京支部助成金	400,000円
		事務費	21,250円
		小計	5,588,669円
合計	17,250,275円	次年度繰越金	11,661,606円
		合計	17,250,275円

※次年度繰越金の状況

経常通帳	717,776円
定期預金	2,599,166円
郵便貯金	1,321,497円
郵便振替	6,173,640円
現金	849,527円
合計	11,661,606円

◇賛助会費

収入の部		支出の部	
22年度繰越金	5,955,070円	次年度繰越金	5,959,231円
受取利息	4,161円		
合計	5,959,231円	合計	5,959,231円

※次年度繰越金：5,943,204円の状況

普通預金	10,099円
定期預金	5,949,132円
合計	5,959,231円

◎平成24年度 予算(案)◎

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	11,661,606円	総会費	1,800,000円
会費	3,000,000円	会議費	200,000円
筒台会運営協力金	1,200,000円	事業費	2,500,000円
		(内訳)	
		事業費	300,000円
		国際協力金	200,000円
総会参加費	800,000円	部活動支援金	300,000円
会報協力金	2,480,000円	卒業記念品	500,000円
(内訳)		教育推進費	300,000円
会報収入	1,580,000円	立替部活動経費	900,000円
会報広告料	900,000円	通信費	1,200,000円
雑収入	120,000円	印刷費	1,200,000円
(内訳)		慶弔費	100,000円
バナー広告料	96,000円	交通費	200,000円
寄付金	20,000円	東京支部助成金	300,000円
受取利息	4,000円	事務費	100,000円
		小計	7,600,000円
合計	19,261,606円	次年度繰越金	11,661,606円
		合計	19,261,606円

◎会計監査報告◎

上記の決算報告は会計監査の結果正確であることを認めます。

平成24年 4月10日

会計監査 小林 寛子
会計監査 村松 公人

❖平成23年度会務報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	出席者数	
① 平成23年4月8日(金) 「入学式」	役員5名出席	母校
② 平成23年4月13日(水) 「役員会」本年度役員・幹事総会、本年度総会・懇親会、会報44号発行他	13名出席	神戸市勤労会館
③ 平成23年4月21日(木) 「役員・幹事総会」前年度決算・監査報告、本年度事業計画、予算案、総会・懇親会開催他	34名出席	神戸市勤労会館
④ 平成23年4月27日(土) 「会報43号校正作業」	8名出席	神戸市勤労会館
⑤ 平成23年5月11日(水) 「役員会」ホームカミングデー、会報43号発行、総会・懇親会他	12名出席	神戸市勤労会館
⑥ 平成23年5月31日(火) 「総会会場現地打合せ」	役員2名出席	第一樓
⑦ 平成23年6月3日(金) 「ホームカミングデー実行PJ」	役員7名出席	(株)東光商会
⑧ 平成23年6月11日(土) 「筒台会ホームカミングデー」 【なつかしの教室でなつかしの授業】	役員・スタッフ10名動員 (記帳約70名)	母校
⑨ 平成23年6月16日(水) 「役員会」総会・懇親会最終打合せ、喜高祭「筒台会ホームカミングデー」開催報告、「東京支部総会」出席報告他	15名出席	神戸市勤労会館
⑩ 平成23年6月25日(土) 「筒台会総会・懇親会」	220名参加	第一樓
⑪ 平成23年7月16日(土) 「総会・懇親会の総括並びに打ち上げ」	9名出席	杏花村

	出席者数	
⑫ 平成23年9月15日(木) 「役員会」市・学校からの校舎建替えに関する説明、総会・懇親会の総括、役員の出張旅費規定について他	16名出席	神戸市勤労会館
⑬ 平成23年9月19日(祝) 「体育大会」	役員9名出席	母校
⑭ 平成23年10月20日(木) 「役員会」次年度総会・懇親会の概要、次年度予算編成、会報45号発行と送付先検討他	16名出席	神戸市勤労会館
⑮ 平成23年11月17日(木) 「役員会」次年度役員・幹事総会、総会・懇親会、広報委員会開催報告、会報45号発行他	12名出席	神戸市勤労会館
⑯ 平成23年12月8日(木) 「役員会兼忘年会」次年度総会・懇親会会場、会報45号発行他	8名出席	北野ガーデン
⑰ 平成24年1月18日(水) 「役員会」次年度予算編成、次年度役員・幹事総会及び総会・懇親会、次年度運営方針他	7名出席	神戸市勤労会館
⑱ 平成24年1月23日(月) 「広報委員会」会報広告、協力金の表示、会報における校舎建替え〈特集〉案他	5名出席	兵庫倶楽部
⑲ 平成24年2月15日(水) 「役員会」次年度事業計画案、次年度役員・幹事総会日程、会報45号発行・広告募集、次年度総会・懇親会他	9名出席	神戸市勤労会館
⑳ 平成24年2月27日(月) 「筒台会入会式」	役員2名出席	母校
㉑ 平成24年2月28日(火) 「卒業式」	役員3名出席	母校
㉒ 平成24年3月14日(水) 「役員会」次年度役員・幹事総会、次年度予算、次年度総会・懇親会、会報45号発行、他	役員14名出席	神戸市勤労会館

平成24年度 in KOBE

筒台会総会・懇親会のご案内

- 日 時 平成24年 6月23日(土)
- 場 所 神戸ポートピアホテル
神戸市中央区港島中町 6丁目10番地 1
TEL(078)302-1111(代表)

※無料送迎シャトルバス
ミント神戸1階バスのりば⑧番
(毎時：0,12,20,32,40,52分発)

内容

定時総会 5：00PM～(本館B 1F菊水の間)
懇親会 6：00PM～(本館B 1F借楽の間)

会費

神戸市立第一中学校卒業生……………	無 料
平成19年度以前の卒業生……………	¥7,000
平成20～22年度卒業生……………	¥3,000
平成23年度卒業生(平成24年3月卒業生)………	無 料

母校の発展・育成の為、筒台会総会にご学友お誘いあわせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

筒台会会長 志 水利 達



多数の方々のご参加をお待ちします。

平成24年度 in TOKYO

筒台会東京支部総会・懇親会のご案内

- 日 時 平成24年 5月26日(土)
- 場 所 銀座三笠会館 本店 5階(並木通り)
TEL.03-3571-8181

内容

受付開始 4：30PM～
総会・懇親会 5：00PM～7：30PM

会費

一 般……………	¥8,000
学生 2年生以上……………	¥3,000
学生 1年生……………	無 料

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
神戸市立第一中学、葺合高校の卒業生で東京近隣に在住の方々にお集まり戴き、上記の通り総会並びに懇親会を開催いたします。是非ご出席を賜り旧交をあたためていただきたく存じます。

筒台会東京支部 支部長 渡 部 隆

